



1万人の子ども達にサンタとの思い出を届けたからこそわかった 日本初！日本のクリスマスとサンタクロースに 関する調査データ『サンタ白書2016』発行！

「サンタを待っている子ども」と「サンタになる大人・企業」をつなげ、すべての子ども達にサンタとの思い出を届ける活動に取り組むNPO法人チャリティーサンタ(代表 清輔夏輝)は、2008年から累計で1万人以上の子どもにプレゼントとサンタを届けてきた中で、家庭や様々な事情からプレゼントがもらえない子どもがいる事に気付きました。そんな「子どもたちのクリスマス格差」を世の中に発信するために、日本で初めてとなる“子育て家庭におけるクリスマスやサンタクロースへの関わりを調査＆分析した「サンタ白書2016」”を11月23日(水・祝)に発行します。

【サンタ白書で伝えたいこと】

日本でも圧倒的に経済効果のあるイベントがクリスマス。子どもを持つ家庭にとっても最も重要なイベントとして位置付けられているが、“楽しいイベント”というだけでなく、“夢を信じる力”“自己肯定力”“しつけ”など様々な効果が期待されている。

クリスマスプレゼントは、家庭の経済格差があっても購入金額はあまり違いがなく、子どもが欲しい物を買っていることが分かった。しかし、「ひとり親」や「家族の健康問題」など様々な問題を抱える世帯年収の極端に低い家庭になると、クリスマスは何もしないという「子どもたちのクリスマス格差」が浮き彫りになった。



『サンタ白書2016』
定価：本体2,000円(税込)
発売：2016年11月23日
判型：B5版

このサンタ白書2016を発行することで、経済的理由で“プレゼントがもらえない”“サンタクロースはいない”と教えられている子どもに、家庭の金銭負担なしでサンタクロースがプレゼントを届ける「ルドルフ基金(2015年開始)」などを知ってもらい、チャリティーサンタだけでなく企業や多くの人の協力によって、日本中の子ども達にサンタクロースとの思い出と夢を届けていきます！



NPO法人チャリティーサンタ代表：清輔夏輝(きよすけ・なつき)

1984年生まれ、福岡県出身。国立有明高専建築学科卒。建築設計事務所、ITフリーランス、株式会社サイバーエージェントを経て、2014年より現職。6歳のクリスマスにサンタさんから直接プレゼントをもらった経験が原体験。18歳から始めたヒッチハイクで日本3周。千人以上の人と出会い、人の優しさに触れ「恩返しではなく恩送り」という価値観を知り、現在の活動を開始。延べ1万人をサンタ活動に動員、1.7万人の子どもに届け、現在は本業がサンタクロース。他にも、日本ヒッチハイク協会の創設やネットを使った物々交換企画「エコわらしべ長者」でお箸から風車への物々交換企画を実施。

【NPO法人チャリティーサンタとは？】

日本発のサンタクロース団体。クリスマスイブの夜にサンタクロースに扮したボランティアが、小さなお子様がいる家庭にプレゼントを届ける「サンタ活動」と、サンタ活動の際に家庭からお預かりしたチャリティー金で、困難な状況にある子ども達の支援を行う「チャリティー活動」の2軸で活動している。サンタになるには、ボランティア参加者全員が約3時間の「サンタ講習会」を事前に受ける必要がある。ボランティアサンタ人数：10,109人、訪問家庭軒数：7,066軒、届けた子ども人数：17,377人。21都道府県28支部。(2016年現在) 子育て家庭からのサンタクロースを呼ぶ依頼も年々増える一方、学生を中心とするサンタクロースのボランティアの数も年々増え続け、今年は、過去最多の2千人を超えるボランティアサンタの数を記録する予定。

代表理事・活動内容についての取材、出演可能